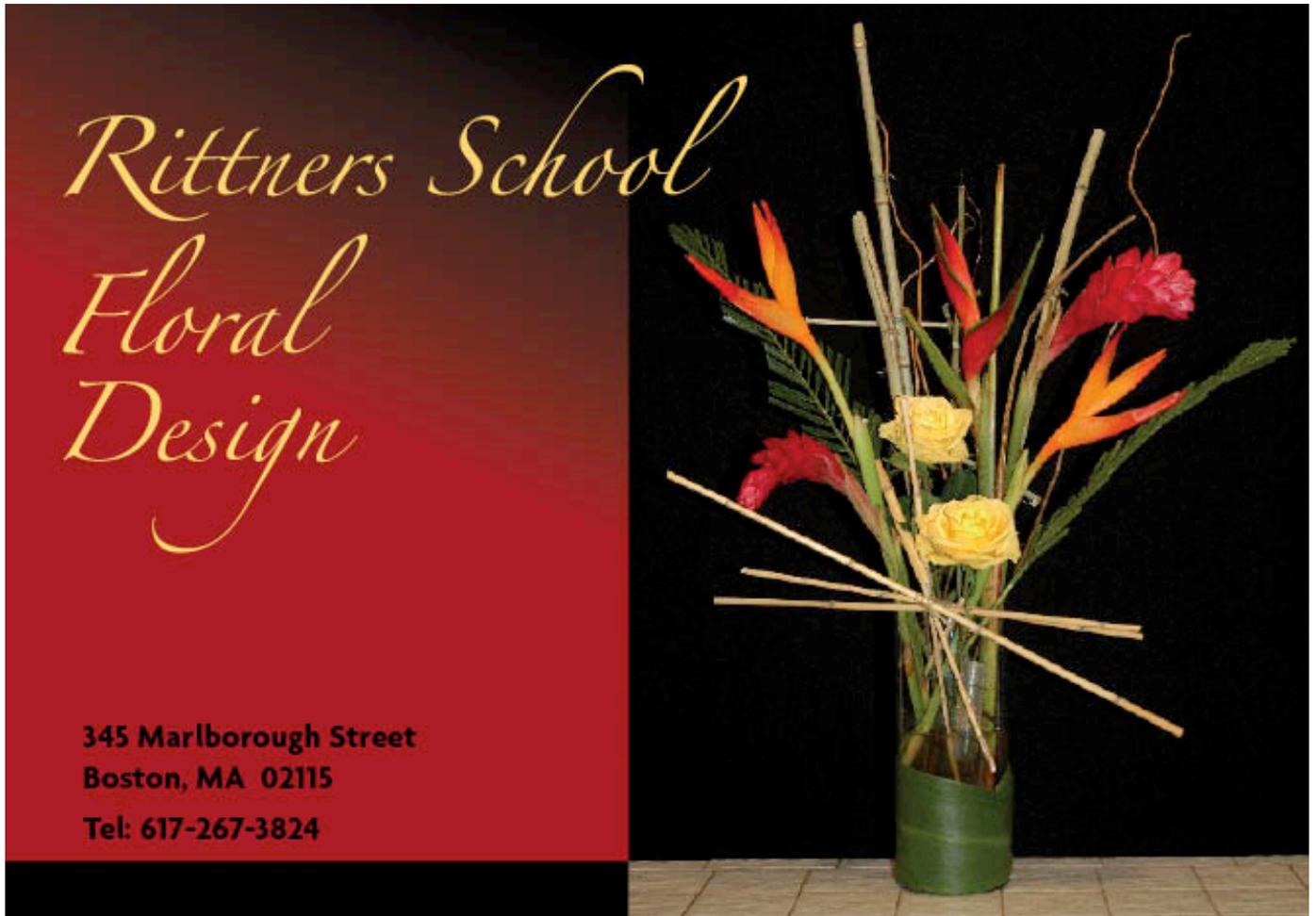


# Rittners School of Floral Design



## リットナーズ スクール オブ フローラル デザイン

アメリカでフローラル  
デザインを学びませんか。  
日本人の方、大歓迎。



**アメリカでフローラルデザインを学びませんか。  
日本人の方、大歓迎。**

アメリカで長年の歴史を誇るリットナーズ スクール オブ フローラル デザインは、全米でも優秀な学校として評判が高く、フローラルデザインを学びたい方には最適の学校です。国内だけでなく海外からも熱心な方が集まって国際色豊かな雰囲気をかもし出しています。年齢層も幅広いです。

充実した内容の授業が楽しく受けられます。

# Rittners School of Floral Design



リットナーズスクールは教育・文化の中心地ボストンの美しい住宅街にあり、治安もよく、生活・勉強するには理想的な環境にあります。

リットナーズスクールは世界でも優れたコースを提供。授業料もお手頃、魅力的です。



## 長い歴史を誇る北米のフローラルデザインスクール



創立60年以上の経験を誇る  
リットナーズ スクール オブ  
フローラル デザインは北米  
を代表する質の高いプログ  
ラムを提供しています。  
創立当時のアメリカ社会で  
フローラルデザインを勉強  
するには徒弟制度で、花屋  
で何年も修行を積みながら  
デザインを学ばなければな  
りませんでした。これは忍  
耐が必要で、途中で断念し  
たくなるほどでした。当時  
フローラルデザインは急進  
的で一風変わっていると世

間では見られていました。リットナーズスクールはリットナー初代が創立し、現在、三代目のスティーブ・リットナー博士がフローラルデザインの養成に献身しています。花をデザインする喜びを分かち合いながら、技術を養い、幅広いデザインの制作を目指します。

## アメリカで本格的なフローラルデザインを楽しみながら学ぶ。



外国に住みながらその国の文化を学ぶということは、人生の有意義な体験のひとつです。

リットナーズスクールでは大勢のアメリカ人に混じって日本人はもちろん外国人も勉強しています。アメリカ人の中でレッスンを受け、アメリカ人とお友達になれます。和やかな雰囲気の中で英語の講義を聞き、フラワーデザインを通

してアメリカの伝統的な行事や習慣・文化を学び、アメリカ人のクラスの仲間とも親しくなれます。フローラルデザインを習得しながら英会話も上達、まさに一石二鳥です。

世界のどこでも英語や西洋のフローラルデザインやその国の習慣が学べますが、リットナーズスクールはそのまたとない機会を提供します。

## クラス・スケジュールおよびコース内容



アメリカのフローラルデザインのコースをいろいろ提供。各コースとも、基礎から上級まで幅広く指導。

- 6ヶ月昼間コース

毎年9月中旬～3月中旬

週5回（月～金）

9:00～15:00

- 12.5週間夜間コース

年2回 1月または10月初旬

入学 12週間半コース

週2回（火&木の夜）

午後7:00～修了証授与

- 集中昼間コース（年3回）4月（5週間）コース・6月コース・7月下旬～8月上旬（3週間）コース 週5回（月～金）  
修了証授与。

● 6ヶ月昼間コース (Our Six Month Day Course)

毎年9月中旬～3月中旬 週5回 (月～金) 9:00～15:00



リットナーズスクールの6ヶ月昼間コースは、他で提供されているフローラルデザインのコースの中でも最も充実したコースの一つと言えるでしょう。このコースではアメリカのフラワーデザインをクラシックから最先端に行くデザインまで徹底指導。フローラルデザイナーになりたい方のために、知識と熟練した技術を幅広く指導します。





このコースでは、パラレル技法、新しい従来のデザイン、バベ、ミル・ド・フルール、マルチレベルのフローラルアート、モジュラ・フローラルデザインなどを学びます。水をベースにしたデザインとしてベISING、バインディング、補強の技術、またユニットフローラルアート、個人に合ったフローラルアプローチ、バルーンを使ったデザイン、ス

タイロフォーム材料を使った独創的なデザインなどもマスターします。これらはコンテンポラリーのフローラルアートのほんの一例です。

東洋とヨーロッパの技術の応用として、種々のギフト品をデザインに取り入れたり、トロピカルフラワーを使った独創的なアート作品も制作します。



ホテルの広いロビーに飾るセンターピース、トピアリー、ユーロスタイルのスピラル・ハンド・タイド・ブーケ、プール・フロート・デザインなど趣向に富んだ作品も制作します。グルー、ワイヤー、テープなどの道具を使った技法にも挑戦します。

ハイファッションのデザインや分解・復元テクニックを使った豪華なブライダル・ブーケも制作。

多岐にわたるフローラルデザインの技術を修得するとともに、あらゆる花関連のビジネス応用も学びます。

**I-20 発行。コースを滞りなく修了された方には修了証を授与。**

## ● 12.5 週間夜間コース (12.5 Week Evening Course)

年2回 1月または10月初旬入学  
12週間半コース  
週2回 (火&木の夜)  
午後7:00～  
修了証授与。

夜間コースは、ボストン近辺に在住で、パートでフローラルアートを勉強したい方にお勧め。昼間は忙しいが夜なら受講できる、しかも充実したレッスンを受けたいという方には理想的。



- 集中昼間コース（年3回）（Our Concentrated Courses）



4月（5週間）コース・6月コース・7月下旬～8月上旬（3週間）コース  
週5回（月～金）

修了証授与。

短期間の集中プログラム。アメリカで短期間でフローラルデザインの資格を取得したい方には理想的なコースで、楽しみながら学べます。クラシックからコンテンポラリーまで幅広い技術と技法が修得できます。

## どんな資格が取得できるのか？



**RITTNERS  
SCHOOL  
FLORAL  
DESIGN**

345 Marlborough Street  
Boston, MA 02115  
Tel: 617-267-3824

The image displays four identical floral arrangements in clear glass vases, each set against a different solid background color: top-left is orange, top-right is red, bottom-left is purple, and bottom-right is blue. The arrangements consist of various flowers, including red and white roses, and greenery.

各コースとも修了証を授与。6ヶ月昼間コースを滞りなく修了した方にはフローラルデザイン&フローラル ビジネス プラクティスの修了証を授与。12.5週間夜間コースまたは集中昼間コースではフローラルデザインの修了証が授与されます。

リットナーズスクールでは何年もかけて受講する必要がありません。評判が高く信頼あるフローラルデザインのコースを何週間または何ヶ月間で滞りなく修得すると、プロフェッショナルのフローラルデザインの修了証が取得できます。

## どのコースが最も自分に適しているか？

各コースの中から、ご自分の都合に合わせて、お選びください。長期のフルタイムコースを目指す方は6ヶ月昼間コース。アメリカ滞在期間が限られている方には、短期間でたくさん学べるパートタイムの集中昼間コース（春季・夏季）をお勧めします。夜間コース（1月・10月入学）もパートタイムで、ボストンに住んでいる方、または滞在している方で、夜の時間なら可能という方にふさわしいでしょう。



## 入学時フローラルデザインの予備知識が必要か？

どのコースもフローラルアートの予備知識や経験は必要ありません。予備知識がないという前提のもとにコースが組まれていますので、気楽に受講していただけます。すでに技術がある方でも、大いに役立ち楽しんでいただけます。

多くの学校のプログラムは、初歩、中級、上級などと各レベルごとにコースが組まれていますので、段階的にコースを取って行かなければなりません。従って、最終的には高額な授業料を支払うことになります。

リットナーズスクールではどのコースも基礎から始めて、中級、上級の技術を磨きますから、他のコースを取る必要はありません。一つのコースを受講するだけで豊富な知識と高度な技術が学べます。



## 英語は母国語ではないが、TOEFL が必要か。

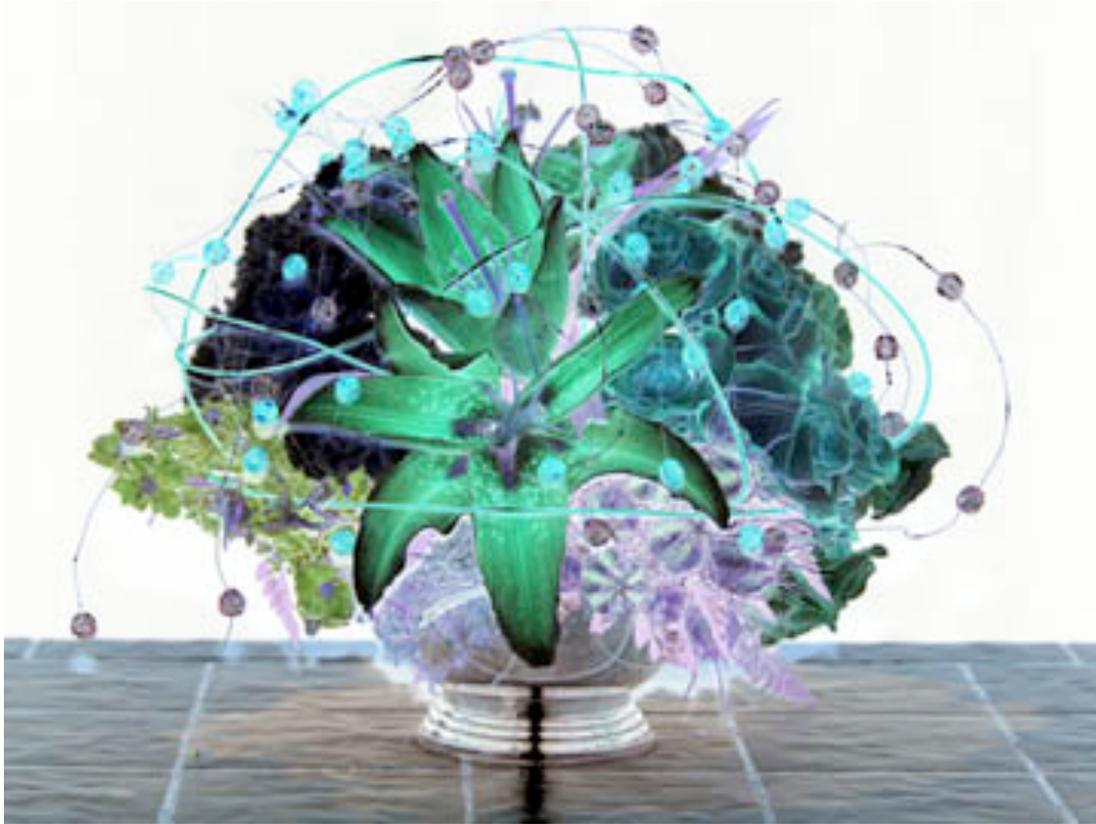
どのコースも英語での講義ですが、TOEFLを必要としません。ただし、簡単な日常英会話ができることが望ましいです。

どの授業でもデザインの技術を一つひとつ丁寧に説明します。デモンストレーションをしながら分かりやすく説明しますので、説明の意味が分からないときがあっても心配いりません。リットナーズスクールでは英語がよく分からない外国人の生徒さんにはいろいろな面でお手伝いします。英語が母国語の方からノートを借りて、コピーを頼むこともできます。もちろんコピー代は無料です。どのクラスもビデオに撮っていますので、構内で復習が可能です。図書館には日本出版のフローラルデザインの本も豊富に揃い、常時新刊を補充しています。



当校では何十年にもわたり世界各地から多くの方を迎えてきました。外国での勉強は自国での勉強と違って大変です。リットナーズスクールでは外国人の生徒さんにフローラルデザインを教えることに意義と喜びを覚え、丁寧に辛抱強く指導してきました。生徒さんにも評判がよく大変喜んでいただいております。

## どんなデザインが学べるのか。



アメリカのフローラルデザインは世界中のフローラル技術とアプローチを取り入れています。アメリカの社会が「人種のるつぼ」と言われているように、フローラルデザインも多種多様です。リットナーズスクールではいろいろなスタイルとアプローチの修得を目指します。

リットナーズスクールではクラシック・デザインから最先端を行くモダンな創意工夫と技術まで学べます。東洋、ヨーロッパ、北米のアイデアを取り入れてバラエティに富み、面白い作品が出来ます。



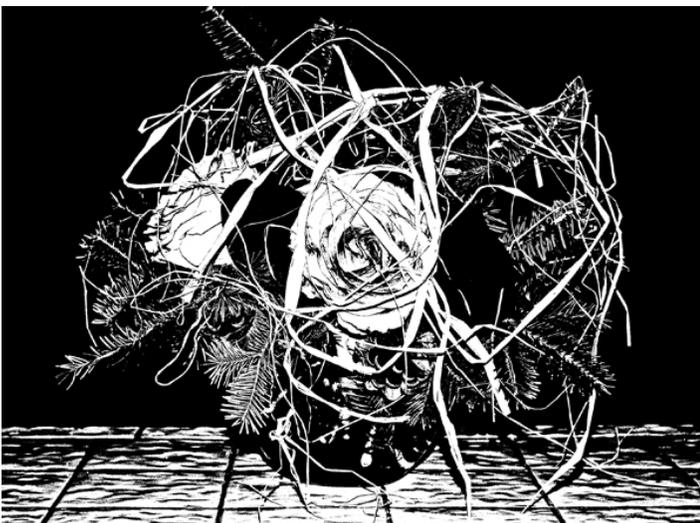
6ヶ月昼間コースでは  
特に種々の祭日と  
行事に合わせた  
フローラルアートが  
楽しめます。

どのコースも楽しくて有意義な  
クラスです。アメリカ滞在中に  
素晴らしいアメリカのフローラ  
ルデザインを学びませんか。ア  
プローチやスタイルに関する詳  
細は、リットナーズスクールの  
全ウェブサイトをご覧ください。

[www.floralschool.com](http://www.floralschool.com)



## フローラルスクールの経営者が直接指導



経営者が指導にあたりと期待して入学したのに、実際にはそうではなかったと裏切られることがあります。経営者の名前が校名になっているにもかかわらず、経営者との接触がほとんどない学校があります。リットナーズスクールでは経営者であるスティーブ・リットナー博士が各コースの指導にあたっています。単に学校の看板にすぎなかったり、たまに学校に顔を出すだけという経営者ではありません。教師として直接生徒さんを指導していますから、期待した通りの授業が受けられます。

## 学校の所在地

**リットナーズスクールはアメリカ東部の美しい町ボストン市内にあり、住むにも勉強するにも申し分ない環境にあります。**



教育・文化・歴史の中心地ボストンは世界各地から大勢の人が集まる国際都市です。ニューヨーク、シカゴ、ロサンゼルスほど大都会ではありませんが、住みやすく日常生活が楽しめます。交通の便もよく徒歩で市内が回れるこじんまりした町です。ボストンを拠点にカナダ、

ニューヨーク市、ワシントンDCにも比較的近く、ヨーロッパへも短時間で飛べます。

リットナーズスクールがあるボストンの優雅な住宅街バックベイには、赤レンガの建築物が立ち並び、道路の両側に植えられた街路樹やガスランプが独特の雰囲気をかもし出しています。19世紀のイギリスを思わせる住宅街では、市の特別な許可なしにはレンガ造りの建物の外観を変えることができません。学術都市ボストンで勉強しながら、都市生活を謳歌しましょう。

ボストンはプロスポーツでも有名。ボストン・レッドソックスは日本の選手が活躍する強豪チーム。シーズンにはボストン中が熱気に包まれます。当校はフェンウェイ球場まで歩いて行ける距離にあり、レッドソックスが点を入れたときには、観客の大歓声が学校にまで響いて来ることがあります。

## 学校の設備



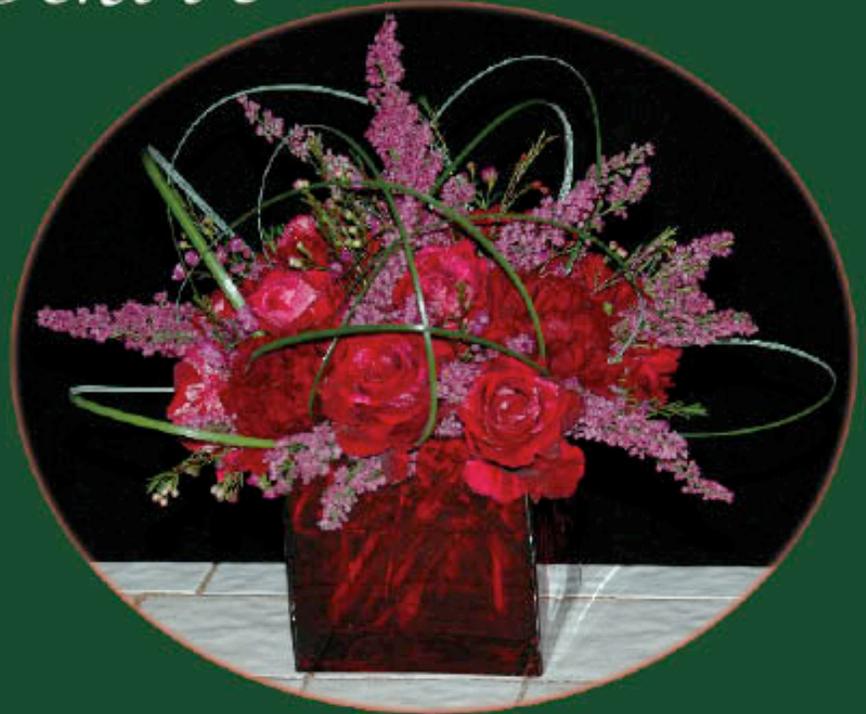
リットナーズスクールで見逃せない設備の一つとして図書館があります。4,000冊以上からなる書物を所蔵し、日本出版の本もたくさん揃っています。またビデオとデジタル

テクノロジーを駆使しています。インターネットはご自由にお使いいただけます。

教室では最新の教育用テクノロジーを使って指導しますが、あくまでも、ご自分の手で作品を制作していただきます。その日のテーマの実演と説明を受けた後、各自でデザインの実践をします。デザインした花はお持ち帰りできます。



# Rittners School Floral Design



345 Marlborough Street  
Boston, MA 02115  
Tel: 617-267-3824

## ボストンの宿泊先

ご自分の好みとご予算によって宿泊地も当然違ってきます。プライバシーが欲しい方にはアパートがいいでしょう。女性専用の寄宿舍、ホームステイ、それに修道院もあります。

**宿泊先については、お気軽にご相談ください。**

## 日本円はアメリカでもっと価値がある。

どのコースも初級から中級、上級までの技術が学べ、有意義な体験ができます。授業料もお手頃で、花材費込みです。

外国為替レートではドル安のため、円をドルに換算するとより値打ちがあります。授業料、宿泊料金、食事費、娯楽費を含めボストンの物価は、世界の他の国に比べて安いです。

世界の高い水準に行くリットナーズスクールでフローラルデザインを体験してみましょう。





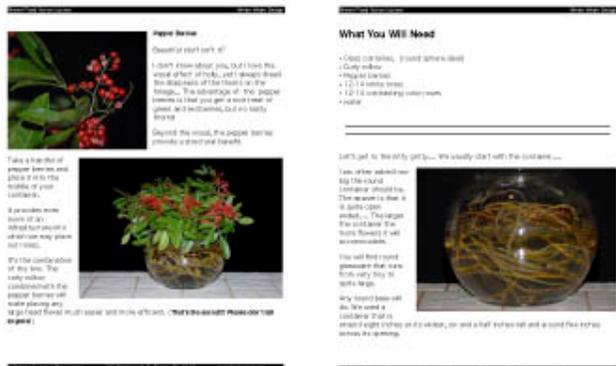
## 花材費は授業料込み

世界の多くのフローラルデザインスクールでは、授業料以外に花代、花器代、材料費が別料金になっています。従って、レッスンにかかる費用がかさみ、思わぬ出費に驚かされることがあります。リットナーズスクールでは、花代、花器代、材料費は授業料に含まれ、花にかかる費用で他に加算されるようなことはありません。

各コースともお手頃な授業料です。現行の授業料に関しては、リットナーズスクールまでお問い合わせください。



## リットナーズ フローラル スクールのフローラルデザインが オンラインで学べる！



ボストンの学校でフローラルデザインが学べるだけではありません。オンラインレッスンを購入して、自宅でリットナーズ フローラル スクールのレッスンが受けられます。好きなレッスンを選んで、いつでも自由な時間に学べ

ます。

Pdf フォーマットの電子ブックは、現在ご覧になっている電子ブックによく似ています。どのレッスンもフローラルアートを最初から最後までゆっくり丁寧に指導しています。指導に従って一つひとつデザインしていくと、フローラルデザインがいかにか構成されているかがよく分かるでしょう。

初心者の方にも分かりやすいように丁寧に指導していますので、ほとんどのレッスンは予備知識の必要がありません。クラシックのデザインもあれば、コンテンポラリーのデザインもあります。

このフローラルワークショップレッスンの制作には莫大な時間が費やされました。学びながら楽しんでいただけるでしょう！

レッスン料はお手頃です。オンラインショップをご覧ください。

<http://www.floralschool.com/Distanceeducationstartpage.htm>



## リットナーズスクールのウェブサイトをご覧ください。

北米でも特に美しいボストンに位置するリットナーズスクールで、フローラルデザインを修得しませんか。気楽に楽しみながら技術を見につけるには最高の学校です。アメリカ文化に触れながら英語が上達できるまたとないチャンスでもあります。少人数のクラス、経営者を含む講師、整った設備など、質の高いフローラルアートを学ぶには条件が揃っています。

アメリカで評判の高いフローラルデザイン  
スクール.....

リットナーズスクールで知り合ったお友達の  
友情は生涯変わることがないでしょう.....

この日本語のサイトは学校紹介にすぎません。

詳細については全ウェブサイトをご覧ください。



[www.floralschool.com](http://www.floralschool.com)

## 卒業生の感想 (Students' Comments)



### From Sachiko....

私が通ったコースは、半年(9月中旬～3月中旬)のコースです。クラスのサイズは小規模で、先生から直接指導を受ける事ができるとも良いサイズです。授業の内容は、午前中にアレンジメントのデモンストレーションを見て、その後、自身で実践し(この自分のアレンジメントは毎日持ち帰れますよ!)、午後は講義形式で花の種類、花屋の経営

の仕方、アメリカ文化における花、といった内容について教えて頂けます。卒業後もアレンジメントができるように講義と実践を繰り返し、技術と知識の定着を図る工夫がなされていますので、ただお花が好きの人だけでなく、真剣に学びたい方にもお薦めです! アレンジメントでは、サンクスギビングや、クリスマスといった文化に即したアレンジメントをするので、アメリカ文化に触れたい! という方にもお薦めです。ちなみに生徒は、お花が好きの人、フラワーショップを経営したい人、幅広い年齢層の人が、様々な理由で通われています。

学校では、お花を学ぶだけではなく、友達の和も広がりました。クラスの生徒はアメリカ人だけではなく、私の時にはタイランド、韓国からの生徒もいて、とてもインターナショナルな雰囲気でした。午前の授業では、先生のデモンストレーションの後、テーブルをシェアしてアレンジメントの実践をするのですが、実践ではさらに少人数のグループに分かれて作業台をシェアします。お花を分け合い、道具を貸し借りすることになります。こういったやり取りが生徒の仲を深めてくれますので、お友達が出来やすいです。また、この時間帯はお互いの作品を見せ合い、とても和やかなひと時です。アレンジメントのため気分がリラックスし、想像力が増してアートな気分になるように(!?)先生もテーマに即した音楽や季節の音楽をかけてくれ、雰囲気作りにまで配慮して下さるので、終始楽しい雰囲気です。もちろん、リクエストがあれば、それも流してもらえます。

入学まで心配した英語ですが、これもサポートしてもらえますし、6ヶ月集中して様々な英語を聞き話すので、卒業の時には会話力も伸びていました。学校では英語が基本ですが、インターナショナルの生徒が今までに何人もいますので、先生は英語を第二外国語としている生徒に対してとても理解があります。私も講義形式の授業の場合に、ノート・テイキングでは困難を感じるがありました。そんな時には、授業の後に先生に補って頂いたり、生徒同士が仲良くなってからはノートを貸してもらったりと、とても良くして頂きました。

ももとは、お花が好きという理由だけで通った学校ですが、この6ヶ月の間には授業だけでなく、教室を借りて生徒の誕生日会をさせてもらったり、ハロウィンに持ち寄りランチをしたりと、お花以外のアメリカ文化にも触れる機会にも恵まれました。卒業の時には友達も増え、会話力も伸び、アメリカ滞在をとても豊かにする場となりました。特に、授業が開かれる9月から3月はアメリカの様々な文化行事が目白押しなので、お花という共通する趣味を通じて文化を肌で感じる良い機会となりました。

学校の経営者であり先生でもあるリットナー氏が、学校を生徒にとって素晴らしい機会となるように望まれるからこそ、お花だけに留まらない豊かな経験の場となるのだと思います。そんなリットナー氏は、卒業後もいつでも生徒を暖かく迎えてくださり、いつでも相談にのって下さるので、卒業後もリットナー氏を慕ってくる生徒は沢山います。私もスクールのファミリーであることをとても喜ばしく感じています。是非、リットナーズスクールで学んでみては如何でしょうか。

## 卒業生の感想

### From Hiromi....

午前中3時間で、毎日様々なタイプのアレンジメントを作ります。ランチが終わると、午後の講義が始まります。

それぞれの間に休憩時間があるので、クラスの仲間とは嫌でも仲良くなって行きます。6ヶ月毎日ほとんど一日中一緒にいたら、仲良くなりますよね。



私は幸運にもクラスの仲間に恵まれ、楽しく半年を過ごしました。それぞれが違ったアイデアを持ち、違った能力を持っているので、毎日出来上がったデザインを見るのが、本当に楽しみでした。アメリカにあるこのクラスの良い所の一つです。同じ花材を使っても、今日のポイントを押さえていたら、自由にアレンジして構わないので、本当に同じなの？と思う程皆それぞれ、個性的。「へえ〜」と感心させられてばかりいました。

さて、このクラスをとって良かったのか事は何か...

- \* 毎日お花仲間ができた事      お花と関わる事ができる  
毎日お花のアレンジができる事そしてそのお花を家に持って帰る事ができる事  
家の中がお花屋さんのおようでした  
お友達やお世話になっている方々に差し上げて喜んでもらえました
- \* お花仲間ができた事  
年齢も環境も違った、でもお花が大好きなお友達に巡り会えた事
- \* いろいろな種類のアレンジメントの基本を習える伝統的なアレンジから、近代的なアレンジ、  
アメリカ的なアレンジと多種多様なデザイン  
応用の利くテクニックの習得  
普通の身近な花を使って気の利いたアレンジをする工夫
- \* アメリカ文化を知る  
お花をアレンジする事は、その国の文化を知らなくてはなりません  
季節のアレンジとともに、文化、行事を知る事ができます
- \* 英語  
クラスの中は英語のみ（もちろんですよ）必然的に英語を聞き、特に午後の講義の時間は私にとってはディクテーションの時間でした  
英語に自信がなくても、聞き取れなかったら、お友達にいつでもノートを借りる事ができます  
借りたノートは無料でコピーを取ってもらえます  
自分の英語力をためすには良い機会です

ボストンと言う場所は、アメリカの大きな都市の中では、例外的に安全度の高い都市です。

ヨーロッパ的な古い町並みの中のお教室に半年間通う事ができます。観光にも便利。もちろん今話題のフェンウェイ球場もすぐそば。優勝パレードも昼休みに観に行ける程です。

またDr.スティーブの事務所には、お花関連の本が壁中に並んでいます。その中の一角にあるのが日本語の本。かなりの量の本があり、今でも新しい本がどんどん補充されています。私もそれらの本を見るのが楽しみでした。もちろん日本語の分からない友人達も一緒に眺めていました。お花には言葉は必要ありませんものね。

日本で習う華道、ヨーロッパのアレンジとはちょっとひと味違う自由なアレンジメントをアメリカ文化と一緒に習いに来ませんか。

このクラスはこんな方にー

アメリカでお花を習ってみたい方  
英語を習いたいけど、英語だけじゃなくって、何か他にも、と思っている方  
1年2年ではちょっと長過ぎるけど、とお考えの方。  
お花が好きな方ならばこのクラスを取ってみるのも一つの選択種です。

一度我々がDr.スティーブとお話ししてみませんか？  
簡単な英語を分かりやすく話して、質問に答えてくれる事でしょう。





さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、スティーブ・リットナー博士 (Dr. Stephen Rittner) まで、メールまたはお電話でお問い合わせください。本人が直接ご返事いたします。

**住所：345 Marlborough Street, Boston, MA 02115, U.S.A.**

**メールアドレス：[stevrt@tiac.net](mailto:stevrt@tiac.net) 電話：1- 617-267-3824**

## お問い合わせ (Question Form)

ご質問・お問い合わせのある方は、お手数ですがこの用紙を印刷して、スティーブ・リットナー博士 (Dr. Stephen Rittner) までご郵送ください。メールかお電話でお問い合わせいただいても結構です。本人が直接ご返事いたします。

学校 : Dr. Stephen Rittner, Rittners School of Floral Design

住所 : 345 Marlborough Street, Boston, MA 02115, U.S.A.

電話 : 1- 617-267-3824

メールアドレス : [stevrt@tiac.net](mailto:stevrt@tiac.net)

お名前(Name) :

ご住所(Address) :

郵便番号(Zip code):

ご自宅電話番号(Home phone number) :

携帯電話(Cell phone) :

メールアドレス(Email address) :

お問い合わせ内容 (Questions) :



We hope you enjoyed this brief description of our school. But...are you still sitting here reading this thing?

You should be emailing us to get a catalog so that you can take a complete hands-on course with us.....A diploma course in floral design.....

Or taking out your credit card and buying some of our online workshop lessons.....

**Otherwise you will never know how to finish this design.....(There it sits....lonely....waiting for you to buy its lesson.....or to come to our school to take one of our courses.....)**

You have to admit. It is large and impressive!

**DO IT NOW!!!!**

**Rittners Floral School**

**345 Marlborough St. Boston, Ma. 02115**

**Tel: 617-267-3824 Email: [stevrt@tiac.net](mailto:stevrt@tiac.net)**

**Web: [www.floralschool.com](http://www.floralschool.com)**